

四小スタンダード

学校生活の基本となるルール「四小スタンダード」を設定し、学習の基盤が身に付くよう指導しています。御家庭での協力もお願いします。

小平第四小学校

項目	イメージ	学校の基準 (下線は児童自己評価)	家庭へのお願い
学習用具	ロッカー・フック 	○ランドセルは止めを奥にして、ロッカーに入れる。 ○上着・帽子は、ランドセルに入れる。 ○学習用具の置き場所を、学年で統一して置く。 <u>○すべての持ち物に名前を書く。</u> <u>○学習に必要なものは、置かない、持ってこない。</u>	すべての持ち物に名前が書いてあるか確かめてください。
	くつ箱 	○校庭側・・・上履きを入れる。 ※つま先・かかとに記名 ○廊下側・・・外履きを入れる。 ※つま先を奥にし、かかとをそろえる。	金曜日には上履きを持ち帰らせるので、汚れ、破損、記名等を点検してください。また、月曜日には上履きを確実に持たせてください。
	机 	○ぞうきんは、椅子の脚に洗濯ばさみでとめる。 ○左側の箱<学習用具入れ> ※色鉛筆、クレパス、のり、はさみ、予備用マスク、定規 など ○右側の箱<教科書・ノート入れ> ※教科書、ノート、筆箱、下敷きなど	学期に1回持ち帰るので、不足、破損、記名等を点検してください。
	筆記用具 	○「学習用具のきまり」(4月に配布)で、確認チェックする。	筆箱の中を定期的(1週間に1回以上)に点検してください。
授業	準備と待ち方 	○授業に使う教科書やノートなどを机の上に準備しておく。 ○授業の「はじめ」と「おわり」の挨拶は、そろってする。 ○教室の移動は、担任の先生と並んで行く。	学校の準備を自分でさせましょう。
	座り方 	姿勢を整えて! ○背筋は伸ばす。 ○膝をそろえる。 ○お腹と机の間は、拳を一つ分あける。 ※手は、膝の上にそろえておく。	家庭の中でも、正しい姿勢を意識させましょう。
	ノートの使い方 	○下敷をノートの下に敷いて書く。 ○めあてとまとめは、しっかり書く。	週に1回程度、子どものノートを点検してください。

項目	イメージ	学校の基準 (赤文字は児童自己評価)	家庭へのお願い
授業	発言の仕方 	<u>○名前を呼ばれたら、「はい」と大きな声で返事をしてから発言する。</u> ○声の大きさに気をつけて、語尾までしっかりと話す。 ○「～です」「～ます」「～さん」等、丁寧な言葉遣いで話す。	名前を呼ばれたら、必ず返事をさせましょう。
	話の聞き方 	<u>○目・耳・心で話を最後まで聞く。</u> ○今やっていることをやめる。 ○あい手を見て。 ○いいしせいで。 ○うなずきながら ○えっ?っと思っても ○おわりまで。	相手の目を見て会話をしましょう。
	片付け 	○席をはなれるときは、椅子は中に入れる。 ○使ったものは、元の場所に置く。	後片付けは必ず自分でさせてください。 (状況に応じて、一緒に片付ける。)
その他	登校 	<u>○登校時間(8:10~8:20)を守る。</u> ○通学路を守って、登下校する。 ○より道は、絶対しない。	決まった時刻に就寝、起床させてください。
	給食 	○ランチョンマットを必ずしく。 ○口に食べ物が入っている時は、話しをしない。	ランチョンマットを毎日持たせてください。
	廊下歩行 	○校舎内は、静かに右側を歩く。	公共の場での過ごし方について話し合ってください。
	あいさつ 	○自分から笑顔であいさつをする。 ○感謝の気持ちを「ありがとう」で伝える。 ○迷惑をかけたなら「ごめんなさい」と言う。	家庭でも、様々な時間や場面で挨拶をさせましょう。
	休み時間 	○天気の良い日は、中休みは、全員校庭で遊ぶ。 昼休みは、校庭か、先生のいる場所、もしくは図書室で静かに過ごす。 ○図書室の過ごし方 中休み…本の貸し借りのみ 昼休み…本の貸し借り、読書	学習者用端末使用のルールに従い、携帯電話、ゲーム、テレビのルールを家庭で決めてください。
	連絡・宿題 	○家の人に手紙を渡し、連絡帳を見せる。 ○時間割に合わせて準備する。 ○宿題は必ず提出する。 ○家庭学習の目安の時間は、(10分×学年)	学校からの連絡や宿題を点検してください。
身なり 	○華美な装飾(ピアス、染髪、化粧等)は、しない。 ○室内では、帽子、コート、ダウンは脱ぐ。	安全や健康に留意した身なりで登校させてください。	
大人のルール 	大人が変われば子どもも変わる + ころの東京革命	～大人(家庭・地域・学校教職員)が子どもの手本となるよう～ 一、毎日きちんと挨拶させよう 一、善いことは褒め、悪いことは叱ろう 一、ねだる子どもにがまんさせよう 一、先人や目上の人を敬う心を育てよう 一、体験の中で子どもを鍛えよう	